

ひとり親家庭が地域とつながる

本と笑顔の 居場所プロジェクト

報告会

休眠預金活用事業

2025年2月22日(土)
キャンパスプラザ京都
10時～11時30分

● 共催 ●
knocks!horikawa運営委員会
認定NPO法人happiness
NPO法人こどもサポートステーション・
たねとしずく
認定NPO法人ムラのミライ

● 後援 ●
京都市社会福祉協議会



事業全体についてのご紹介

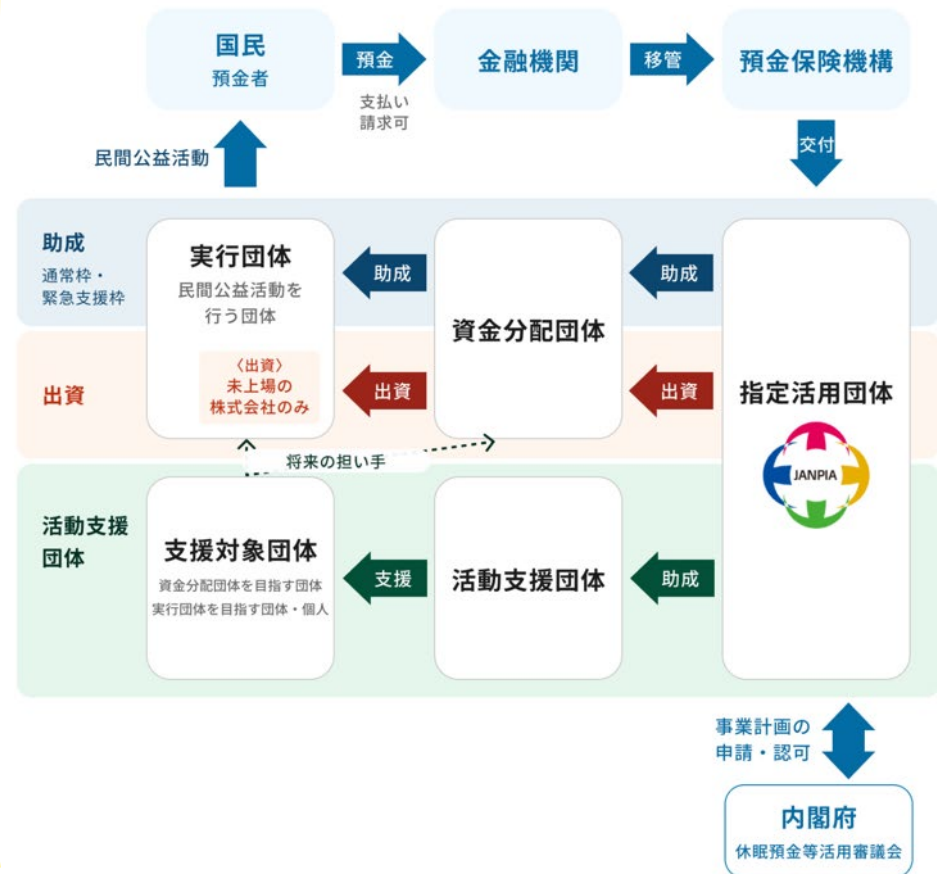


●休眠預金等活用事業について●

この活動パネル展示会でご報告する事業は、休眠預金事業の助成を受けて実施されました。

休眠預金事業とは、10年以上、取引がない預金を活用し、民間の団体が行う社会課題解決を目指す活動に助成するものです。

本事業では、右図の「資金分配団体」をムラのミライが、「実行団体」を happiness、knocks!horikawa、たねとしずくが、担っています。



出典：一般社団法人日本民間公益活動連携機構
<https://www.kyuplat.com/kyumin/details/>



●団体紹介:ムラのミライ●



「自分たちが考え、自分たちでやった。」と言えるように。

対話を通じて、当事者自身が納得のいく答えを一緒に導き出していく活動に取り組むNPOです。

法人設立1993年 本部：兵庫県西宮市夙川



セネガル:小規模農家を対象にした土壌劣化防止と農地生産性向上事業



JICA委託事業:NGO等向け基礎からはじめる国際協力事業研修



休眠預金活用事業:資金分配団体~ひとり親家庭サポート地域拠点強化事業&若者の段階的就労支援~



兵庫県西宮市:地域で助け合う子育ての輪



青森県:地域共生社会への取り組み:地方自治体への伴走支援



鳥取県倉吉市:コミュニケーションファシリテーター養成研修



書籍出版、主催講座、事業・講座の企画・国内・海外への講師派遣



予防・健康づくりに関する住民参加型コミュニケーションツール開発

●様々な場所・分野で

- ・ 場所：国内外、都市スラム、農村、セネガル、兵庫県西宮市、京都府京都市
- ・ 分野：国際協力、医療・福祉・子育て、子ども支援など

●活動のこだわり

ムラのミライは、メタファシリテーション手法を活動のベースに、当事者自身が納得のいく答えを導き出していくことにこだわりながら、人材育成や地域づくりに取り組んでいます。



※「メタファシリテーション」とは、事実を聞く質問を通じた対話により、課題解決を支援する方法です。

メタファシリテーションは（特活）ムラのミライの登録商標です。（登録第6591412号）

●ひとり親家庭が地域とつながる本と笑顔の居場所プロジェクト●



事業の背景

- ◆ 地域の子どもの居場所が不足□特に長期休暇とその前後で、ひとり親の経済的困難と精神的疲労の度合いが高まるにも関わらず、ひとり親家庭支援が不足
- ◆ 本のある居場所（地域の拠点の一つ）のひとり親家庭支援の知見や運営資金の不足□ひとり親家庭が立ち寄れる場所になっていない

（2023年当会によるひとり親家庭支援団体と民営の図書館運営者からの聞き取りより）

社会課題

ひとり親家庭が抱える3つの課題

- 経済的困難と精神的疲弊
- 安心して過ごせる居場所の不足
- ひとり親支援の人材不足

「いつも支援される存在」という負の感情でなく、プラス（+）の気持ちで行ける居場所の存在が支援につながる機会を増やす

< 参照 >

- NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ（2023年9月）[https://www.shingurumaza.or.jp/2023/09/09/](#)
- 令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果報告（2021年11月）[https://www.mhlw.go.jp/content/000014837_00001.pdf](#)
- 全国のみんとしよ（2023年12月）[https://www.mhlw.go.jp/content/000014837_00001.pdf](#)

●ひとり親家庭が地域とつながる本と笑顔の居場所プロジェクト●

●目標●

ひとり親家庭の社会的孤立を軽減し、その子どもや親が「本のある地域拠点」で安心して交流でき、地域社会全体が安全で居心地の良い場所となることを目指します。

- 活動期間：2024年5月～2025年2月
- 資金分配団体：認定NPO法人ムラのミライ
- 実行団体数：5団体
 - knocks!horikawa運営委員会(京都)
 - NPO法人happiness (京都)
 - NPO法人こどもサポートステーション・たねとしずく (西宮)
 - 認定NPO法人さいたまユースサポートネット (埼玉)
 - NPO法人泉京・垂井 (岐阜)
- 助成総額：4800万円



●活動期間：2024年5月～2025年2月

事業全体についてのご紹介

ムラのミライ

資金分配団体の活動・伴走支援

実行団体

実行団体の活動・伴走支援

精算等

進捗報告

2024 年 ←
5～6 月 ← 資金提供契約 ←
← 助成金(初回:6ヶ月分) ←
← 事業開始 ←
←
←
←
10～11 月 ← 助成金(7ヶ月目から事業完了までの期間分) ←
←
←
←
2月末 事業終了
2025 年 ← 事業完了時精算報告 ←
3 月 ← 事業完了時監査 ←

←
進捗報告書 ←
←
←
←
←
←
←
←
事業完了報告 ←

認定 NPO 法人

ムラの
ミライ

●資金分配団体として事業を通じ達成したいこと(事業開始時)●



ひとり親

- ・「支援される」という負の感情なく立ち寄れる場所としての本のある拠点づくり
- ・物価高騰で困難となった食料や日用品の支援、家事や育児サポート

ひとり親家庭の子ども

- ・子どもが長期休暇中に自宅以外で安心して過ごせる場所



支援者

- ・ひとり親の現状・子どもの権利の尊重・本のある拠点の運営方法、相手の話を聴く技術といった技術や知識を身につけた支援者の養成
- ・研修を受けた結果を団体内での支援ガイドラインに落とし込み、支援者間で共有して支援にあたる体制づくり
- ・支援者が定期的にケアされる体制づくり

連携

- ・ひとつの団体内だけで抱え込まず、近隣地区の行政・企業
- ・NPO等でつながるリソースの可視化と体制づくり

●資金分配団体としての実行団体への支援(事業開始時)●

ムラのミライでは、助成対象団体の希望に応じて、下記のような非資金的支援を行います。



● 相手の話を聴く技術(メタファシリテーション)講座

当会が実施する主催講座（オンライン）に、実行団体のスタッフやインターン・ボランティアの無料参加枠

● バックオフィスサポート

業務フローの洗い出し/ノウハウの言語化と支援者（スタッフ）研修のコンテンツ作成/会計・報告システムの構築等サポート

● 連携先団体/機関と情報共有サポート

地域資源（本のある拠点とひとり親支援団体等の連携）リスト等作成、連携先団体/機関と情報共有の体制づくりをサポート

● 専門家紹介サポート

本のある拠点の運営やひとり親支援に必要な研修の受講や講師・専門家の紹介

●成果●

●ひとり親家庭の居場所に

7ヶ月で3団体に延べ1,325人のひとり親とその子どもたちが訪問
その約7割が継続利用し、地域とつながる場に

●ひとり親支援者向けガイドライン作成

ひとり親支援で大切にしたいポイントをガイドラインに

●子どもの権利を尊重した居場所づくり

子どもの意見を取り入れた安心・安全な居場所のための「子どもとの約束」完成

●ネットワークへ

京都市・西宮市の支援団体が定期的に会合を開き、ゆるやかな連携をスタート

●課題●

●支援情報を得るむずかしさ

特に妊娠中や出産後、離婚前後に必要な情報が届きにくく、このタイミングで、支援情報を得られやすくするような取り組みが必要です。

●支援につながったあとも困難が...

家事・育児・仕事をしながら、何度も何度も必要な手続きのために窓口足を運ぶのは負担大。また支援の場で、辛い思いをしてしまうことも。実態を広く伝え、ひとり親がより使いやすい支援が必要。

